

舞鶴市の小中一貫教育

～ふるさと舞鶴を愛し夢に向かって将来を
切り拓く子どもの育成を目指して～

舞鶴市教育委員会 教育企画課
住所：舞鶴市字北吸1044番地
電話：0773-66-1034

第4号（平成29年12月発行）

まいづる教育フォーラムを開催

～地域の学校支援、学校の取組状況を発表～

舞鶴市では、育てたい子ども像『ふるさと舞鶴を愛し夢に向かって将来を切り拓く子ども』の育成に向け、「0歳から15歳までの切れ目ない質の高い教育の充実」を進めており、小中一貫教育は、そのための手法の1つです。その取組状況について、保護者や地域の皆さんに理解を深めてもらう機会とするため、「まいづる教育フォーラム」を10月29日、西総合会館で開催しましたので、その概要を紹介します。

地域による学校支援

地域と学校が連携した活動（城北中学校区地域支援協議会）

城北中学校区の課題解決を支援するため、地域の方々が設置している「城北中学校区地域支援協議会」の活動理念や活動内容について、副会長の福原習作氏から紹介がありました。

【活動理念】

学校・保護者・地域がそれぞれの責任を果たし、子ども達の豊かな成長を支えたい！

【活動内容】

- 「夢プロジェクト」の支援＝アサギマダラ(蝶)を校区に飛来させる取組。児童生徒が地域の方々と一緒にフジバカマの植樹や蝶の生態の学習・観察行い、子どもと地域の交流機会になっている。
- 食の伝承、おもしろ教室の開催＝地域の方が学校菜園で栽培したサツマイモのツルを調理し、生徒へ提供する取組や地域の方が講師となり囲碁や詩吟教室を開催など。



フジバカマの植樹の様子

学校による実践発表

小中一貫教育の成果と課題（城北・加佐中学校区）

平成28年度から先行導入している城北・加佐中学校区から報告があった成果と課題の一部をご紹介します。

【成果】

- ◇児童生徒がつながり、小小・小中連携が深まった
- ◇小・中学校教員の連携が進み、学習指導や教材開発等の指導力の向上につながった
- ◇学校・PTA・地域とのつながりがさらに深まった
- ◇中学校進学に不安を覚える児童が減少し、「中1ギャップ」の問題が緩和した

【課題】

- ◆教員の会議・研修時間の確保
- ◆教員の負担感・多忙感の緩和
- ◆児童生徒の交流活動時の移動手段・時間の確保
- ◆学力向上を意識した小学校間の連携
- ◆進路実現に向けた小中学校教員の協働
- ◆教員・PTA・地域のみんなで創造

専門家による講演

地域ぐるみで進める小中一貫教育（佛教大学教育学部 原 清治教授）

【講演内容のポイント】

- 子どもの学力や社会性の向上には、舞鶴市が進めているように乳幼児教育と小中一貫教育とのつながりを意識し、一貫性・連続性を持って取り組むことが必要。
- 子どもが将来の見通しや夢を持つことは、学習意欲や動機に大きな影響を及ぼす。周囲の大人は、子どもの想いを否定せず聞いてやり、大人・保護者としての想いを伝えることが大切。
- 周囲の大人に見守られている安心感や期待されている感覚が、子どもの自己実現の促進に効果があるので、学校・家庭・地域が連携し子ども達を見守ってほしい。



原教授の講演の様子

城北中学校区

(城北中、明倫小、吉原小、余内小、福井小)

校区共通の教育目標
自らの未来を切り拓く
「生きる力」を身に付けた
次代を担う児童生徒の育成

城北祭への参加



(平成29年10月28日、於:城北中学校)

校区4小学校の6年生が、城北祭に参加し合同で合唱を披露しました。1学期から音楽の授業で積み上げてきた学習の成果を、たくさんの来場者に観ていただくことができました。

青葉中学校区

(青葉中、三笠小、倉梯小、倉二小、与保呂小)

校区共通の教育目標
ふるさとを大切にし 共に学び合い
共に支え合い 共に磨き合い
可能性を切り拓く子どもの育成

中学校部活動体験



(平成29年8月24日、於:青葉中学校)

校区4小学校の6年生が、部活動体験をしました。中学生から優しく指導してもらい、レベルの高い内容の練習が体験でき、暑い最中でしたが大変有意義な取組ができました。

加佐中学校区

(加佐中、岡田小、由良川小)

校区共通の教育目標
10年間を見通した
確かな学力と豊かな人間性の育成
～保小中をつなぐ～

中学校1日体験学習



(平成29年10月12日、於:加佐中学校)

校区2小学校の6年生が、中学校で1日体験学習を行いました。体育や理科の合同授業や中学生と合唱練習を体験しました。楽しみにしていた中学校給食では、「美味しい！」の声がたくさん聞かれました。

和田中学校区

(和田中、中舞鶴小)

校区共通の教育目標
夢を志へ
目指す子ども像
力強く将来を展望する子ども

小中学校教員の授業研究会



(平成29年11月28日、於:中舞鶴小学校)

校区の小中学校教員が、義務教育9年間を見通した一貫性のある指導を行うため、指導内容の相互理解や指導力の向上を目指して、算数・数学科で授業研究を行っています。

モデル校区の取組内容を紹介します